

## お知らせ

■同時発表先：島根県政記者会、出雲市政記者クラブ、米子市政記者クラブ、松江市政記者クラブ

# 斐伊川水系の自然環境を守り、活かす取組の愛称とシンボルマークを、あなたの一票で決めます。

『斐伊川水系生態系ネットワーク協議会※1』は、斐伊川流域が有する豊かな自然環境を活かし、多様な主体との連携と協働に基づく、河川を軸とした生態系ネットワークの形成による大型水鳥類と共に生きる流域づくりを目指し、地域の魅力を再発見し地域振興が図られることを期待して平成27年度に設立しました。

この度、協議会の取組をより身近に感じ、知ってもらえるように協議会の愛称とシンボルマークを皆さんの投票で決めたいと思います。

投票方法や選定候補については、別添のチラシを、ご参照ください。

※1 正式名称：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

### 【投票期間】

◆令和4年1月17日（月）～令和4年2月18日（金）

<問い合わせ先>

斐伊川水系生態系ネットワーク協議会 事務局

■国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

総括保全対策官

わかい かつふみ  
若井 克文

(担当) 建設専門官

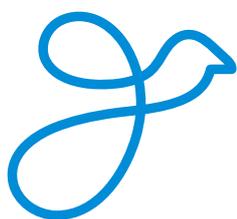
みはら やすひろ  
三原 康宏

0853-20-1763 (直通)

# 愛称とシンボルマークを みなさんの「投票」で 決めます!

応募期間 2022年1月17日(月)～2月18日(金)

水を連想させる青の柔らかいラインで、はばたく水鳥



A

自然から連想した色彩で形づくる、水鳥・水辺の「み」



C

静・平和を感じさせる鳥の羽は、水鳥・水辺の「み」



B

斐伊川水系生態系ネットワークによる  
大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会は  
私たちの取組をより多くの人に知ってもらうため  
愛称とシンボルマークを作ることにしました。  
A～Cのシンボルマークと、1～4の愛称を  
それぞれ1つ選んでください。  
みなさまの投票をお待ちしています!!

- 1 斐伊川水系 水鳥プロジェクト
- 2 斐伊川水系 水鳥のくにびき
- 3 斐伊川水系 とりのわネットワーク
- 4 斐伊川水系 とりの環





# せい たい けい 生態系ネットワークとは？

安全で豊かな私たちのくらしは、個性豊かな生きものたちがつながりながらくらす環境である「生態系」のめぐみによって支えられています。生態系ネットワークとは、このような「生態系」を守り、増やすために、素晴らしい自然環境が残された場所を結び付けるとともに、こわされてしまった自然環境を再生する取組のことで、私たちが住む斐伊川水系は、ラムサール条約に登録された中海・宍道湖をはじめ、斐伊川や神戸川、川まわりの田んぼや山にかこまれた田んぼなどの豊かな水辺環境の中に、大型水鳥類をはじめとした野生の生きものがたくさんくらし、日本のなかでも数少ないとても大事な地域となっています。しかし近年、さまざまな理由により環境が悪くなり、生きものたちも数を減らしつつあります。そこで、この協議会ではハクチョウ類・ガン類・ツル類・コウノトリ・トキといった、生態系の健全さをあらわす大型水鳥をシンボルとして、生態系ネットワークの取組を進めるとともに、豊かな生態系を活かした地域づくりに取組んでいます。

## 投票方法

### 1. Webの場合 フォームにご記入ください

googleフォーム

<https://sites.google.com/view/hiikawa-econet>



### 2. 用紙記入の場合 ご記入のうえ 応募箱に投函 郵送 FAX のいずれかでご応募ください

表面のA～Cのシンボルマークと1～4の愛称を、それぞれ1つ選び記入してください。



シンボルマーク



愛称

自宅、勤務先、学校  
いずれかの市町村名

年齢

職業または  
学年

ご意見・ご感想

応募期間 2022年1月17日(月)～2月18日(金)

[用紙の郵送、FAX先]

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会  
国土交通省出雲河川事務所 〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
電話 0853-21-1850 FAX 0853-21-2878

私たちは持続可能な開発目標  
SDGsを支援しています

